

平成 20 年 6 月 4 日

プロセストライボロジー分科会委員各位

主査 土屋 能成

プロセス・トライボロジー分科会 平成20年度総会
および第119回研究会のご案内

貴社益々御盛栄のこととお慶び申し上げます。平素より当分科会事業に御理解ならびに御協力頂きありがとうございます。とうございます。

さて、第119回の研究会を下記の予定で開催します。「トライボ初歩講座（そのⅠ 潤滑剤）」となっております。御参加頂けますようご案内申し上げます。

（代理の委員の方でも結構です。）

日 時：平成20年7月11日（金）13:00～16:40

会 場：(株)豊田中央研究所 厚生施設アクタスBホール（添付ファイル「会場地図」をご参照下さい）

（〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字横道41 - 1

電話：0561-71-7612または09031547202）

交 通：添付ファイル「中研アクセス」をご参照下さい。

1. 総 会（13:00～13:30）

・主査挨拶、平成19年度事業・決算報告、平成20年度事業案・予算案審議

2. 第119回研究会

(1) 話題提供 45分×4題（質疑10分程度含む）（13:30～16:40）

(1-1) 「潤滑剤の種類と特性」 湘南工科大学 村木 正芳

産業界では多くの種類の潤滑剤が使用されている。潤滑油にはどんなものが入っているのか、それらが潤滑油の特性や性能とどのように関わるか、環境に優しい潤滑油とはどんなものかについて解説する。

(1-2) 「リン酸塩処理と一工程潤滑剤」 日本パーカラライジング(株) 山本 昇

化成処理の一種であるリン酸塩処理は、耐食性、塗装密着性、潤滑性などの向上を目的に、50年以上の長きにわたり使われている。リン酸塩処理の概略を述べると共に、次世代のリン酸塩処理と環境に優しい一工程潤滑剤を紹介する。

（休憩 10分）

(1-3) 「水溶性白色系の熱間鍛造用潤滑離型剤」 大同化学工業(株) 池田 修啓

熱間鍛造の現場では黒鉛系離型剤が多く使用されてきたが、近年は作業環境の改善と廃液量削減の目的から白色系の適用が強く求められている。本報では白色系離型剤の概要と適用時の注意点などについて報告する。

(1-4) 「板成形用潤滑剤」 湘南工科大学 片岡 征二

潤滑の基本は、摩擦界面で流体潤滑領域を増やし、流体潤滑膜が破断したところでは境界潤滑膜によってメタルコンタクトを防ぐことである。板成形における潤滑剤の作用機構について解説し、無洗浄油とプレコート材潤滑の潤滑機構を考える。

申込先：ryo@me.es.osaka-u.ac.jp, Fax: 06-6850-6199

(1) 御氏名、(2) ご所属、もし連絡先（住所、電話、ファックス、e-mailが変更されましたら、お知らせ下さい。）

申込締切：7月4日（金）17:00

(別紙1)

平成20年 6月 日

Fax: 06-6850-6199

E-mail : ryo@me.es.osaka-u.ac.jp

大阪大学大学院基礎工学研究科

機能創成専攻機能デザイン領域

松本 良 宛

プロセスライポロジー分科会
第119回研究会 参加申込票

[申込締切: 5月24日(水)]

所 属 学校名・会社名等	出席者名	部 署 名	役 職	電 話 番 号 (市外局番も記入)